

生成AI技術による国際ビジネスレポート生成の実証実験

取組企業	株式会社DEVELOPTONIA
	CEO 大場一雅
	050-3575-8368
	https://about.develop-tonia.com/

共同研究 の相手	茨城大学、工学部、情報工学科
	教授 新納浩幸
	0294-38-5220
	http://nlp.dse.ibaraki.ac.jp/~shinnou/

<背景>

国際ビジネスの競争が激化する現代において、企業は迅速かつ正確な市場分析を必要としています。従来の手作業による情報収集と分析には限界があり、効率化と精度向上が喫緊の課題です。そこで、最先端のAI技術を活用し、ビジネスレポート生成の自動化を目指します。この技術革新により、企業は戦略的な意思決定を迅速に行えるようになり、市場での競争優位性を確立できます。

<研究開発の目標>

上記課題解決のため、AIによる自動ビジネスレポート生成サービスを開発し、企業の意思決定を支援します。迅速かつ高精度な情報提供を通じて、企業の競争力強化と顧客満足度向上に貢献します。さらに、茨城大学との産学連携を通じて技術力を高め、地域産業の発展にも寄与することを目指します。

<研究開発プロセス>

- ①データ収集と処理
クレンジング、情報抽出、統合などの処理
- ②レポート生成
読みやすく、精度の高いレポートを作成するための研究
- ③評価と改善
専門家やユーザーが評価し、品質や有用性を検証



生成AI技術による国際ビジネスレポート生成の実証実験

<共同研究機関との取り組み>

茨城大学が持つ専門知識と技術力、特に自然言語処理技術を活用することで、レポートの精度向上とサービスの高度化を図りました。また、実際のビジネス環境での試験運用を通じて得られるフィードバックを技術改良に役立て、継続的な改善への体制づくりに取り組みました。この産学連携は、地域産業の発展に貢献する専門技術者の育成にも繋がることが期待されます。



*写真はイメージです

<研究開発結果>

茨城大学とDEVELOPTONIAの共同研究の結果、レポートに含まれる情報の正確性は平均して90%以上と高い精度が確認され、多くのユーザーがレポートから有用な洞察を得られたと回答するなど、高い有用性が示されました。

一方で、新興市場や特定の産業分野に関する情報源の偏りや不足、レポートの形式や表現方法に関するユーザーの多様なニーズへの対応、常に最新の情報を反映することなど、改善すべき点も明らかになりました。

茨城大学とDEVELOPTONIAは、本実証実験で得られた知見を基に、連携をさらに深化させ、AI技術を活用したビジネスレポート生成サービスの高度化を目指していく方針です。

KiAI

📺 ウズベキスタンの昨日の重要経済ニュースをまとめて教えて

📄 昨日のウズベキスタンの重要な経済ニュースを以下にまとめます。

1. **中国-中央アジア鉄道貿易が1億ドルに達する**
 - 中国、ウズベキスタン、キルギスタンは、専用鉄道ルートを通じて約1億ドル相当の貨物を交換しました。
 - 2024年には2,320本の貨物列車が4,640個のコンテナを運びました。
 - この鉄道ルートは中国の連雲港とウズベキスタンのタシュケントを結びます。
2. **ウズベキスタンの国際準備金が429億ドルを超える**
 - 2025年2月1日時点で、ウズベキスタンの国際準備金は429.1億ドルに達しました。
 - 前月比で17.2億ドル（4.17%）増加しました。
 - 金準備の価値が30.2億ドル増加し、12.6百万トロイオンス（391.9トン）に達しました。
3. **ウズベキスタンの衣料品およびアクセサリー生産が33.8兆スムに達する**
 - 2024年のウズベキスタンの衣料品およびアクセサリー生産は33.8兆スムに達しました。
 - 2020年の10.4兆スムから毎年増加しています。
4. **ウズベキスタンの野菜生産が1,004.9千トンに達する**

*画像は実際の出力結果